

科 目 名	体育	普通科・理数科必修 2年次・2単位
目 標	① 運動の合理的、計画的な実践ができるようにする。 ② 生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を身につけさせる。 ③ 健康の保持増進のための実践力を育成する。 ④ 体力の向上を図らせる。 ⑤ 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。	
位 置 づ け	各種運動の合理的・計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。また、自己の状況に応じて体力の向上を図り、公正・協力・責任などの態度を育てる。	

■使用する教材 現代高等学校保健体育（大修館書店） アクティブスポーツ総合版（大修館書店）	■学習する単元とおおよその時期 ・体づくり運動、体力テスト 【4月】 ・陸上競技、ソフトボール／ソフトテニス 【5～8月】 ・バドミントン／バレーボール 【9～10月】 ・バスケットボール／卓球 【10～11月】 ・柔道、創作ダンス 【11～12月】 ・基礎スキー 【1～2月】 ・体育理論 【3月】
■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法 3年間を見通して幅広く各種の運動を経験し、生涯スポーツにつながるように取り組ませる。 一斉授業および種目選択授業を実施し、各種運動に対して、自己の能力や興味、関心を高めることを考えて進める。各種目の最後に実技テストを行う。	

■観点別評価について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	A 運動の学び方や体力の高め方、ルールなどに関する基礎的な事項を多角的に理解できる。	自己およびグループの課題解決を目指して活動の仕方を考え工夫できる。 健康と安全について、課題を見つけ解決できる。	自ら進んで計画的に運動を行うことができる。 公正・協力・責任などの態度を身につけた行動ができる。
	B 運動の学び方や体力の高め方、ルールなどに関する基礎的な事項を概ね理解できる。	自己およびグループの課題解決を目指して活動の仕方を考え概ね工夫できる。 健康と安全について、課題を見つけ概ね解決できる。	自ら進んで計画的に運動を行うことが概ねできる。 公正・協力・責任などの態度を身につけた行動が概ねできる。
	C 上記が達成できていない	上記が達成できていない	上記が達成できていない
評価の場面	これらの観点を、授業を通して、総合的に判断する。	これらの観点を、授業を通して、総合的に判断する。	これらの観点を、授業を通して、総合的に判断する。

